

につしくんハウスのオープンを記念して、テープカットが行われた。



(右) 保育室の愛称にも使われている、広島西医療センターマスコットキャラクターにつしくん。
(下) かわいく飾りつけされた保育室。3人の保育士が配置される。



子育てと仕事の両立をサポート

広島西医療センター

4/7

広島西医療センター内に病児・病後児保育室「につしくんハウス」がオープンした。この保育室では、仕事などの理由により、家庭で保育できない、保育所や幼稚園、小学校に通う満1歳から小学校3年生までの病気の子どもを預かる。

室内はキャラクターの飾りつけがしてあり、子どもが安心して過ごせる空間になっている。



集中して筆を進める。

(右) 大石さんからのアドバイスを聞いて作業に取り組む参加者。
(下) お気に入りの鯉のぼりが完成して大満足。



4/12 大竹伝統の手すき和紙で鯉のぼりづくり

ギャラリーおおたけ

市内唯一の描き手である大石雅子さんの指導の下、手描き鯉のぼり作り教室が行われた。午前は小学生以下11人、午後は小方・玖波・大竹中学校、大竹高校の描き手ボランティアを含め、29人が参加した。

大竹の手漉き和紙を使い、大石さんのアドバイスを受けながら、参加者それぞれが色鮮やかな鯉のぼりを作った。

描き手ボランティアとして初めて参加したという、若本華澄さん(大竹中3年)と山本紗也さん(大竹中2年)は「下書きがないから難しいけど、和紙は普通の紙と比べてサラサラしているので塗りやすい」と、鯉のぼり作りを楽しんでいた。

会場を包む華麗なハーモニー

3/30

総合市民会館

大竹市の市民コーラスグループ、ウイングハーモニーの10周年記念コンサートが開催された。

「手紙～拝啓十五の君へ～」や「手のひらを太陽に」、ロシア民謡の「ともしび」など、ジャンルを越えた15曲が披露された。



さわやかな歌声を披露し、観客を魅了したウイングハーモニー。

大竹に青の灯をともし

4/2

市役所

毎年4月2日は「世界自閉症啓発デー」、2日～8日は「発達障害啓発週間」。この時期に合わせて、世界各地でブルーライトが点灯された。

市内で活動する、子育てと発達障害を考える会「ハートとハート」が中心となり、市役所でブルーライト点灯式が行われ、大竹市シンボルマークモニュメントが青色に照らされた。



ハートとハート代表の藤村瑞穂さん。

桜の下でまつりを楽しむ

4/6

亀居公園

春を告げる、市民がつくるみんなのまつり「亀居城まつり」が、満開となった桜の下で行われた。

咲き誇る桜に囲まれたステージは、ともしび太鼓の演奏から始まり、大竹市文化協会民舞部の踊りや大竹ジャズダンス同好会のダンスなど、多彩な催しで会場を盛り上げた。

会場に訪れていた梶山怜也くん(15歳)は、ステージ発表を見て「みんなの頑張っている姿が素敵でした」と笑顔で話してくれた。



ステージの最初を飾った、ともしび太鼓。



かっこいいダンスや、可愛いダンスで会場を盛り上げた、大竹ジャズダンス同好会。



優雅な踊りを披露した、大竹市文化協会民舞部。